

現在ではまだ考えておりません。もし、そういう必要性が出てきたときには、再度また協議を進めていきたいと思えます。

○議長（初村 久藏君） 最後です。

○議員（11番 小島 徳重君） 今の件については、そういう声が観光物産協会の会員の方々にもおられます。観光を集中するためには、それがいいんじゃないかという声があるということでお伝えをしときますから、今後、御考慮ください。

以上です。

○議長（初村 久藏君） これで、小島徳重君の質問は終わりました。

○議長（初村 久藏君） 暫時休憩します。再開を2時10分からとします。

午後1時51分休憩

午後2時10分再開

○議長（初村 久藏君） 再開します。

引き続き、市政一般質問を行います。

2番、陶山荘太郎君。

○議員（2番 陶山 荘太郎君） 皆さん、こんにちは。会派、自公・協働、2番議員の陶山荘太郎です。

市民の皆様におかれましては、新型コロナウイルス流行第6波によるまん延防止等重点措置が延長され、対馬市においても感染者の確認は納まらず、今後も予断を許さない状況が続くと予想されます。

また、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻も毎日のように報道され、市民の皆様も今後の影響などに不安を感じていることと思えます。双方の一刻も早い終息を願ってやみません。

そして、ここ対馬は国境に位置し、古くから国土防衛の重要な役割を担ってきました。現在においても、その役割は変わらず、外交による解決を前提とすることはもちろんですが、政府が進めようとしております国家安全保障戦略の見直しにおいて、対馬における防衛基盤整備の必要性についても各方面に働きかけ、真に実行性のある防衛体制を確立しなければならないとあらためて痛感し、皆様と力を合わせて邁進したいと思っております。

市民の皆様にも防衛基盤は平時においては、これ以上ない生活基盤となりますので、どうか御理解と御協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

それではここからは、市民生活に直結した事項について、通告に従い、2点質問いたします。

1点目は、対馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略における、対馬3高校の特性にあった文

化・スポーツ指導者招聘事業の拡充について質問いたします。

本事業は、対馬市総合計画のひとつづくりの分野における、小中学校・高校の魅力化の1つとなっていますが、事業の進捗が遅いように感じます。

まず、事業の現状と問題点について市長の認識をお伺いいたします。

また、文化・スポーツだけではなく、実行性と必要性を考慮し、事業目的を逸脱しない範囲で内容の拡充を図る必要があると考えます。

例えば、公務員試験の合格率を上げるため、高等学校の教育科目にはないものの、公務員試験には出題される判断推理と数的推理の2科目について、短期集中的な講義ができる講師の招聘などを検討できないか、市長の答弁を求めます。

なお、講義についてはリモート方式でも結構です。

2点目は、生活インフラの維持と安心・安全なまちづくりに係る、現在の防犯灯の設置状況と今後の新設方針について、市長の説明を求めます。

それから、現行の防犯灯では、台風等による停電被害の際に機能を失ってしまうため、災害対策の推進を図る観点から、停電時でも機能を発揮できるソーラーパネル式の防犯灯の設置が必要ではないでしょうか。

また、設置の際には、現行の防犯灯との交換ではなく、市が開設する指定緊急避難場所の周辺や過去の浸水箇所及び浸水想定区域内の橋などの危険箇所に用途を区分して新設することが望ましいと思いますので、検討していただきたく、市長の答弁を求めます。

以上が今回の質問内容となります。

ぜひ前向きな内容の答弁を期待しております。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 陶山議員の質問にお答えいたします。

初めに、対馬3高校の特性にあった文化・スポーツ指導者招聘事業の拡充についてでございますが、本事業は令和2年度より取組を開始しており、スポーツまたは文化の各分野における島内3高校への招聘分野の意向聞き取りを行った結果、バレーボール、陸上、これは長距離、駅伝等でございます、ソフトテニスの3種目を設定し、取り組んでおります。これまでの取組内容としましては、島内中学校での部活動の活動状況や中体連、高校総体の状況調査をはじめ、島外へスポーツ留学をされたお子様を持つ保護者へのヒヤリング調査や県内外の各種目で上位進出している公立高校における指導者招聘の手法や待遇面、生徒の卒業後の進路に対する取組、初期投資の状況等の調査を行っております。その後の取組経過として、各競技関係団体との意見交換や指導者候補の紹介等を行い、候補者への個別依頼を行っていく予定としておりましたが、令和2年度からのコロナ感染症が拡大と減少を繰り返す中で、なかなか計画通りに取組を進めることができ

ていない状況であります。

なお、今後もコロナ感染症の収束が予測できない状況ではありますが、島内高校の求めるスポーツ分野の指導者候補を速やかに人選するため、今後の取組方針といたしまして指導者の公募も視野に含め、進めてまいります。

現在、その準備作業として、指導者の雇用形態や待遇面、求める人物像等を網羅した募集要項や公募手法の検討を行っているところであります。

次に、本事業の目的に逸脱しない範囲での内容の拡充についてでございますが、現状、本事業による3高校の希望分野はスポーツに特化したものになっておりますが、本市といたしましては吹奏楽等の文科系部活動についても、各高校の意向がありましたら、本事業の中で適宜、対応したいと考えております。

なお、議員がおっしゃる高等学校の教育科目外である公務員試験に出題される科目にかかる講義のための講師招聘につきましては、確かに高校の授業カリキュラムに入っていない数的推理、統計推理の分野は公務員を目指す生徒には必須の科目であり、学習ができる場面を提供する必要性は十分理解いたします。

しかしながら、本来この分野は高校を管理する長崎県が取り組むべきものではないかとも考えております。したがって、今後、まずは長崎県に状況を説明し、協議を進めてまいりたいと考えております。

次に、生活インフラの維持と安心安全なまちづくりについてでございますが、まず1点目の防犯灯の設置状況と今後の新設方針については、現在、通学路や多数の歩行者が通行する道路に約6,600箇所を設置しており、電気代は年間約1,840万円でございます。

新設につきましては、区長からの地区要望として現状や新規の設置場所等を申請いただき、担当職員が現地を確認の上、予算の範囲内で設置しております。

2点目のソーラーパネル式防犯灯と現行の防犯灯を併用してはどうかとの御質問ですが、台風等による停電につきましては、令和2年9月の台風第9号、第10号、の接近時に最大1万4,100世帯が停電となったことは皆さんの記憶に新しいことと思います。台風等による停電が起きた場合は、電線の断線や電柱の倒壊も予想され、停電の際に差し迫った命の危険がなければ避難場所等への移動は極力避けていただき、明るくなって安全が確認できた後に移動をお願いしたいと思います。

なお、どうしても夜間に移動される場合は懐中電灯等により足元の安全を確認して歩行していただきたいと思います。

街路灯は道路上の通行者や障害物の有無など確認できるよう鮮明に照らしておりますが、防犯灯は犯罪被害の未然防止を図るために設置しており、ある程度の距離を取り、間隔を開けて設置

しているため、中間付近はぼんやりとしか明るくなっておりません。このような状況のため、停電時の暗い中、仮に市が設置したソーラー防犯灯が点灯していることで、その明かりのみで移動することは照らされている場所以外に飛散物などの障害物があっても、確認できないことも予測され、危険であり、通行の安全性の確保ができない状況も考えられますので、設置場所等の検討も含めて今後の検討課題とさせていただきたいと思います。

また、避難所の停電対策としましては、非常用発電機を市で18台購入し、県から9台貸与されており、投光器も18台購入しております。

さらに、本年度中にソーラーパネル付きの防災用ポータブル蓄電池を9台購入予定でございます。

以上でございます。

○議長（初村 久藏君） 2番、陶山荘太郎君。

○議員（2番 陶山 荘太郎君） まずは、3高校の魅力アップのほうから伺っていききたいと思います。

市長は先ほどの答弁で中学校の保護者とか今の問題はコロナ禍でなかなか進まないということがありました。その問題もこれからいつコロナの感染が収束してくるか分からない状況で、それを待っていますと、この事業はなかなか進まないと思います。予算を計上しています関係上、目的を少し拡充していただき、この補習の短期集中型のリモートであれば、これはコロナの影響は島内の感染状況の確認だけで済みますので、コロナの影響についてはここは心配する必要はありませんので、コロナ禍においてもこの事業は推進できると思います。

やはり、中学校からの高校への流出というのも必要ですけれども、高校を卒業した後にどれだけ対馬に就職、あとしてくれるのか。そこがやはり高校生活というのは子供が進路を決定する最終段階です。小中学校につきましては、教育委員会のほうで進めてもらっている対馬を愛する教育の一環で郷土愛というのが出てきますけど、やはり高校生活において対馬市がどれだけ私たちにしてもらっているのか、私たちにどれだけ期待してもらっているのか、ということを植え付けることはこの対馬に残って、対馬の未来を自分たちで担おうという気持ちを植え付ける1番大切な時期だと思います。

ですので、この事業はスピード感を持ってやるのが高校卒業後の人口流出のためにも大事ではないかと思います。コロナのことにつきましては、リモートであれば解決できるということをちょっと御検討ください。

そして、県の教育委員会とかそこら辺との協議も必要だということですが、西海市で今年度の当初予算に高校2年生以上の在校生に対してオンライン学習塾を利用するために最大10万円、計580万円の予算案が計上されています。西海市は今年度から別に、西海市3つの高校があり

ます。大崎高校、西彼杵高校、西彼農業高校、いずれも県立高校です。ここに入学する全ての子供たちに入学準備金として1人5万円の補助もいたしております。同じ長崎県のほかの自治体がこれだけの事業をやるのに、対馬が、また人口流出が激しい対馬がやらない手はないと考えます。その点についてはどうお考えでしょうか。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） まず1点目に、この指導者招聘のスピードが遅いというようなことで、コロナ感染症だけが問題じゃないんじゃないかというようなことでありました。確かにコロナの感染拡大が進んでいる中で、なかなか計画通りに取り組むことができなかったということは大変申しわけないというふうに思っておりますし、今、議員のほうからも御指摘がありましたように、リモート等であれば大丈夫なんじゃないかということも含めまして、先ほど答弁いたしましたとおり、今後はリモート、そしてまた指導者の公募等も視野に含めながらスピードアップしてまいりたいというふうに思います。

それと、2点目のこの市内のやっぱり対馬も3高校ございますけれども、3高校の子供たち、要するに生徒たちに何とかいろいろな助成ができないかということではありますが、対馬市は対馬市として、今ここで言うように、こういった魅力アップ事業で実際にこれが動き出しますと、かなりの事業費をここに突っ込んでいかなくちやならないんじゃないかなというふうに私たちも考えております。

そういうことで、個人個人に対するちょっと助成はどうかなと思いますけど、今後、そこら辺も含めながらこの魅力アップ事業でいろいろ検討してまいりたいというふうに思います。

○議長（初村 久藏君） 2番、陶山荘太郎君。

○議員（2番 陶山 荘太郎君） 高校の要望ということがありましたけど、このことも高校側が要望する事項の1つです。やはり高校の先生も教育科目にない科目、またその教え方を先生もそれぞれの自己の教え方というものがありますので、それを確立するためには先生も入れ替わり立ちかわり転勤とか何かありまして、補習担当の先生とかなんか特に就職組ですね、変わったときにまた新たにこの2科目の教え方とかそういうところを研究しなければなりません。教師の負担もそれによって就職担当の先生も公務員だけを担当するんじゃないくて、そのほかの面接とか一般企業の就職、そういう指導もしなければなりません。

ですので、これも令和2年度の対馬市内部評価と総合戦略推進会議の検証にもこのことはいづれもCというように効果が低かったという判定があり、推進会議の意見ではスピード感をもって取り組んでもらいたいとか、一分野に限らず複数分野での事業展開も検討していただきたいという意見も出ております。この2つの意見を今年度、これ2年度の意見ですので、今年度どう分析されたのか答弁いただけますでしょうか。

○議長（初村 久藏君） しまづくり推進部長、伊賀敏治君。

○しまづくり推進部長（伊賀 敏治君） まず、先ほどコロナ禍の影響で進捗が遅いということで市長のほうからも答弁ありましたけど、担当部としてまずそこを説明させていただきたいと思えます。

まず、指導者招聘ということにしておりまして、その内容がバレーボール、陸上、ソフトテニスということもございまして、それぞれの体育協会であったりとか名前がちょっと有名な方にお話を聞きに行き、その方のついでで誰か紹介していただくとか、そういった島外に出てということ想定しておりましたので、コロナということでなかなか動けなかったということもございまして。そういったところで、総合戦略の評価についてはC判定ということになっております。

今日、提案いただきました逸脱しない範囲での学業関係といえますか、これも先ほど市長の答弁にもありましたけど、今回、魅力化事業として市が想定したのは県立高校ということもありまして、部活動の範囲でくらいでなかなか市では手を出せないのではないのかなというようなところが始まりでございまして、その通常、高校のカリキュラム以外の時間外でやる補習という部分もこの市が支援できることは可能かとは思いますが、内容といえますか手法にもよるかなと思っております。まずは、その就職、進学のための学業ということであれば、やはり県立であれば長崎県、そしてその高校の範疇ではないかなということではございまして、まずは県と協議をさせていただきたいという答弁をさせていただきました。時期的にもう今年度末で受験時期で高校のほうも忙しい時期ですので、そこが変わりましたら県の教育委員会として対馬高校だけにまたこの補習をするということも難しいでしょうから、そうなれば豊玉高校、上対馬高校も同じようなことになってくると思っておりますので、その辺をもう少し時間をいただいて県、そして3高校の話をよく聞いて、市が支援するような事業の組み立てができるならそこは検討していきたいと思っております。

○議長（初村 久藏君） 2番、陶山荘太郎君。

○議員（2番 陶山 荘太郎君） 前向きに検討をお願いしたいと思います。

リモートであれば、私も今年まで対馬3高校のPTA連合会会長として各高校のPTA会長とか事務長、校長先生とかそこら辺とは話してまいりました。これはリモートであれば対馬高校だけではなく。IDとパスワードを共有すれば上対馬高校、豊玉高校に希望者がいれば同時に受講できますので。県の教育委員会では西海市はオンライン塾に最大年間10万円の補助をしております。オンライン塾というものは、これは高校の教育科目も含めてだと思えます。それができるのに県の教育委員会が、いや対馬は教育科目外だからできないということはないと思えます。

オンラインであれば、宿泊費も移動費もありません。高校が望んでいるのは夏期補習、大体

10日間ぐらいの間で集中して行いたいと、そこが最大の効果が得られると。最大10日間とか年間10日間に移動費も宿泊費もいらなくなれば、経費もかなり低減できます。

ですので、もう1点、そしてやはりスピードが遅いというのは指導者を公募するからなんです。先ほどもありましたけれども、協働隊も一緒です。公募するから遅いと私は感じております。今、対馬高校もオンライン特化するんですけれども、公務員補習において無料で提供できる範囲ぐらいの内容の動画を流して補っております。ですので、そこをうまく具合に契約できれば、これスピード感をもって実施できると思いますので、そこら辺も含めて早急に3高校と協議は、3高校の思いは大体同じだと思いますので、実施していただくことを要望いたします。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 今、議員のほうから御指摘がありました対馬3高校の合宿等ですけど、特に学習関係の合宿等でありますけれども、3年度もこれまで壱岐やらそちらのほうに行って学習合宿をしていた関係を、取組を今年はコロナの関係で島外には行かないということでありましたので、そういうことで市のほうから今年はずかでありましたけれども、助成のほうをさせていただいております。そういうことが今後ほかの上対馬高校や豊玉高校につきましても、島外じゃなくてこの島内でそのような取組を進めていくということであれば、何らかの助成の拡大等も考えていけるのかなというふうに考えております。

○議長（初村 久藏君） 2番、陶山荘太郎君。

○議員（2番 陶山 荘太郎君） 市長のその言葉を信じて高校のほうにもちよっと行っていきたいと思います。よろしく願いいたします。

やはりこれ実施するとなれば、最大の効果を生まなければいけないと思いますので、オンラインであればちょっと市の職員が3校から市に就職して、3年目ぐらいの職員が適切かと思えます。講座の前にお話をさせていただいて、対馬市が対馬市の企業に対してしている助成とか対馬市役所で働く対馬の未来を私たちが担うという仕事のやりがとかなんかを語っていただければ卒業して、よし市役所で働いてみよう、対馬の企業で働いてみようとかいう子供たちも増えるかとは思っていますので。やる際にはやはり最大の効果を、学校側にもこの事業については対馬市の補助をもらってやっているということは紹介していただきます。やっぱり帰属意識を、対馬という団体に対する帰属意識を子供たちにもそこで育てていただきたいなと思っておりますので、何卒そこら辺もあわせてよろしく願いいたします。

続きまして、防犯灯の設置状況についてお尋ねします。

防犯灯については市内で約6,600か所、年間の電気代は1,840万円程度というところで、やはり電気代とかそういうところがかさんでくると思います。防犯灯は大体6,600ぐらいで、今、新しい住宅等が建っていますけど、大体付けるべきところには付いたんじゃないかなと私の

考えでは思っています。今後も同じ予算を組むのであれば、とりあえず試験的でも構いません。このソーラーパネル式の防犯灯が付けてみてやはり日照量が違うところに何か所か付けてみて、本当に機能を果たすのか。ブラックアウトとか何かも想定されます。風が止んでも雨が止んでも電気が復旧しない場合もありますので、被災時の次の日とか、夕方になって被災して、まだ雨は降っているけど、避難所に行かなければならないと。風は止んでいるけど雨は降っていると、そういう状況であったときに、やはりそこで停電が収まっていなければ市民の皆様も安心して避難はできないと思いますので。まずは試験でも構いませんので、1回これを検証いただいて有効性が確認できれば活用の方向に進んでいってほしいと思いますけれども、いかがでしょうか。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） ソーラーパネル式防犯灯につきましては、対馬市といたしましてもSDGs未来都市の選定を受けて、持続可能なまちづくりを進めているところであります。また再生可能エネルギーの活用についても市として進めていこうとしているところであります。そういう中でもありますので、このソーラーパネルが耐用年数等も調査が必要でありましようし、先ほど議員言われるように日照度によって果たして満足な照度が確保できるのか等も含めた上で、ちょっといづらか実証実験等は進めてみたいというふうに思います。

○議長（初村 久藏君） 2番、陶山荘太郎君。

○議員（2番 陶山 荘太郎君） ありがとうございます。このソーラーパネル式の防犯灯の利点につきましては、台風等の停電の場合だけではありません。現行の防犯灯は設置箇所に設置してもその近くの電柱、既存の電柱から電気線を引いてこなくてはなりません。近くに電柱がないところに建てた場合には、その配線が長距離になったり、川や道路の上を横断したり、場合によっては民家の敷地を横断している箇所もあります。これがもし台風のとくに途中で切れた場合等は漏電とかそういう危険も絡んできますので、そこも踏まえてこのソーラーパネル式であればもう設置すれば後は太陽との関係ですので、検証でこれは有効だということが分かればそういうところでも活用はできると思いますので、そこも含めて検討していただきたいと思います。

すみません、よろしいですか、耐用年数とかそういうのもありましたけど、私も調べたんですが、私がどこのがいいよというのは言えませんので、調べた範囲で諸元をちょっと言ってみたいと思うんですけど、大体保証期間は3年ぐらいのやつが多いです。しかし、保証期間ですので、普通の太陽光発電のソーラーパネルは各社調べたんですが、大体15年から20年ぐらいですので、どちらが長いかな。ソーラーパネルが長いかな、あとは電灯の部分が長いかな。ですので、結構もつとは思いますが。

やはり今も町の中が暗い、暗いという意見もあります。特に避難所の周辺とかそこら辺については、そこを今の防犯灯と防犯灯の間隙にこの災害用として付けていただければ、市民の方も町

の中にありますので、市民の方も安心して夜でも歩いて健康増進にもなると。相乗効果が求められますので、そこも含めてよろしくお願ひしたいと思います。どうでしょうか、最後。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。（笑声）総務部長、木寺裕也君。

○総務部長（木寺 裕也君） 今いろんな意見ありましたけど、このソーラーパネルについては、一応メリット、デメリットいろんなものがあると思いますので、先ほど市長のほうからも言われましたように実証実験を兼ねて設置場所等についても、例えば影に隠れるとかそういう状況も出てくると思いますので、区長等とも相談しながらちょっとその辺の検証をしてみたいと思います。

○議長（初村 久藏君） 2番、陶山荘太郎君。

○議員（2番 陶山 荘太郎君） ぜひ検証をしていただきたいと思います。検証して、その有効性が確認できたら、ぜひ自主防災組織や行政区などでもその有効性を普及していただいて。別に市が設置しなくてもいいんです。今、市の設置基準に合わないから設置できない要望箇所も多々あると思います。これ設置すれば有効性が確認できれば電気がついて、その機能が発揮できるのであれば、自主防災組織の活動支援事業の補助金やわがまち元気創出支援事業の補助金などに防災組織や行政区にそれを活用していただいて、市の基準に合わなくても地域が必要とする箇所にはこれは付けられますので、ぜひ検証はしていただいて有効性が活用できれば自主防災組織、今少ないですけども、どんどんどんどん結成の推進をしていただいて、自主防災組織や行政区などにもこれを活用していただけるようにしていただきたいと思います。これは私の強い要望ですので、答弁はいりません。

10分残して終わりたいと思います。ありがとうございました。

○議長（初村 久藏君） これで陶山荘太郎君の質問は終わりました。

---

○議長（初村 久藏君） 以上で、本日予定しておりました市政一般質問は終わります。

来週月曜日も引き続き定刻から市政一般質問を行います。

本日はこれで散会といたします。お疲れさまでした。

午後2時51分散会

---